

水と私

「世界連盟ウォーターバッジ」の取得に向けて

「ガールスカウト北海道第20団」

副団委員長 中野 静見

ガールスカウト北海道第20団は、昭和52年、樽前神社を拠点にボーイスカウトと共に発団しました。

日々変化を続ける社会の中で、少女と若い女性を支援するノン・フォーマル教育としてガールスカウト教育があります。

女性による教育・体験活動を通し、視野を広め、考えを深め、それを豊に表現できるよう自己確立を目指します。この過程を経てこそ、互いの価値を認め合うことのできる共同参画が成り立つものと考えます。

さて、このたび水道施設見学会に参加したのは、「少女たちが水に親しみ、水の大切さについて考え行動する」ことを目的とした、世界連盟ウォーターバッジの取得に挑戦するひとつの課題として、水のことについていろいろ調

べ、学習することになりました。

◎ あなたの家の飲み水は、どこからどのように来て、使い終わった水はどこに行くのか調べましょう。

◎ 油・米のとぎ汁・醤油・洗剤などの家庭排水を川に流すことの影響を調べましょう。

◎ そして、川を汚さない工夫を話し合い、実行しましょう。

◎ あなたの住んでいる地域の下水処理場を見学し、処理方法を学びましょう。

◎ 水がないと困ること、節約する方法。

ウォーターバッジ



ブラウン



ジュニア



シニア



レンジャー

など、多くの課題を学んだ結果、バッジを取得することができました。

施設見学を終えて、スカウト達から、下水処理場に関して次のような感想が寄せられました。

○ 処理場の水がきれいになったところに、魚が泳いでいてびっくりした。

○ 行く前は、臭いが心配で不安でした。でも、行くとあまり臭いがしなく楽しかったです。

○ 時間をかけて汚れた水をきれいにしていると思った。みんな働いていて頑張っているなと思った。

○ 汚れた水をきれいにして、また自然に戻すのは環境にいいことだと思った。人と自然は共に支えあって生きているんだなと思った。

このたびの施設見学会で、苦小牧のおいしい水は、苦小牧を囲む自然環境によって育まれているのが改めて認識され、さらには、平成16年の台風18号で大きな被害を受けた国有林の復興プロジェクト「支笏湖復興の森づくり」に参加している私たちの活動が、苦小牧のおいしい水を守ることにつながっていると実感しました。

これらの活動が、私たちガールスカウト北海道第20団が環境保全のために取り組んでいる「チームマイナス

6%」「チャレンジ25」につながっています。

年に一度、スカウト活動発表のパネル展を企画しています。

ぜひ、一度足をお運びください。

終わりに、見学会前日の大雨で、七条大滝見学が中止になる心配がありましたが、朝早くから土のうを積んで足場を造ってくださった市職員の皆様ありがとうございます。

